

第8次高千穂町行財政改革大綱 実施計画書

(1)分類番号	2-1-1	(2)所管課名	財政課							
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実								
	中分類	(1)情報公開の推進								
	項目名	(1)財政状況の公開・活用								
(4)改革方針・目標	決算データ、公会計データ等を整理・公開し、役場職員及び、町民の理解を深める等、幅広く財政情報の活用を図る。									
(5)工程表	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	予 定 (KPI)	データ整理、 活用方法の検討	財政状況の公表・活用	随時更新	/	/				
	取 組 概 要	ホームページ等での決算データ、公会計データの公表・管理								
(6)実績評価	実 績	町広報、ホームページでの財政情報のレイアウト見直し、分かりやすい表現方法や簡素化を図った。								
		B								
(7)備 考	<p>町財政の現状と将来に向けた長期的な財政運営方針（事業計画、基金、起債等）を住民等へ公表し、その透明性を確保する必要がある。</p> <p>本町では、剩余金を一般会計に計上せず財政調整基金に積み立てていることから実質単年度収支に反映されない状態であるため、以下の「実質的な財政収支」を新たな財政指標のひとつとして運用する。</p> <p>実質的な財政収支 = 実質単年度収支 + (特定目的基金積立額 - 特定目的金取崩額) + 決算剩余金処分による財政調整基金及び、公共施設等整備基金の積立額</p>									

(1)分類番号	2-1-1	(2)所管課名	財政課
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実	
	中分類	(1)情報公開の推進	
	項目名	①財政状況の公開・活用	
令和4年度の取組状況	<p>一般町民になじみの薄い自治体の財政状況をできるだけわかりやすいように工夫をする取り組みにより、広報誌の3年度決算や財政事情の公表のレイアウトなど表現方法を改めた。</p> <p>職員向けに本町の財政状況が理解しやすい資料の作成や研修会の準備を進めている。</p>		
ヒアリング内容 の結果 (委員会事務局記載)	<p>財政状況を報告するにあたり、グラフや表を使った財政状況報告を進めている。公会計については勉強会も含めて外部委託を検討しており、まずは次年度から過去資料による職員向け勉強会を行い、資産が老朽化しているものもあることから、古い施設については公共施設の在り方として施設の維持コストを減らすような努力が必要と思われる。</p> <p>町民に分かりやすい公表をするよう努めていただきたい。</p>		
委員会の意見			

## 【大綱に記載されていない課・施設】

## 第8次高千穂町行財政改革大綱 実施計画書

(令和4年度追加分)

(1)分類番号	2-1-2	(2)所管課名	議会事務局							
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実								
	中分類	(1)情報公開の推進								
	項目名	(2)議会中継について								
(4)改革方針・目標	令和4年度に導入し、令和5年度から本格稼働する。									
(5)工程表	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	予 定 (KPI)		令和5年6月 の定例会から テレビ高千穂 で放送する。							
	取 組 概 要	令和4年10 月に施工完了 した。								
実 績										
		令和4年12 月定例会及び 令和5年3月 定例会で庁舎 内でテスト放 送を行った。								
(6)実績評価	B									
(7)備 考										

(1)分類番号	2-1-2	(2)所管課名	議会事務局
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実	
	中分類	(1)情報公開の推進	
	項目名	②議会中継について	
令和4年度の取組状況	令和4年12月定例会及び令和5年3月定例会で庁舎内のテスト放送を行った。各課にアンケートをし、声の大きさや映像についてアドバイスをもらう。		
ヒアリング内容の結果 (委員会事務局記載)	令和5年6月定例会からテレビ高千穂で放送されることについては、議会内でも決定されており、議会傍聴の機会を増やす効果があると思われる。（6月定例会から実施している。）今後も情報公開の推進で取り組んでいただきたい。		
委員会の意見			

第8次高千穂町行財政改革大綱 実施計画書

(1)分類番号	2-2-1	(2)所管課名	企画観光課			
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実				
	中分類	(2)広報公聴機能の充実				
	項目名	①効果的な広報広聴				
(4)改革方針・目標	<p>適切な広報媒体や手段を用いることにより情報発信力を強化し、本町の魅力を積極的に発信する。</p> <p>また、町政に関する様々な情報をわかりやすく身近に伝わるように工夫することで町政への関心を高める。</p>					
(5)工程表	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	予 定	① 町公式LINEのお友達件数				
		①2,000人	①3,000人	①4,000人	①4,500人	①5,000人
	② YouTube「神都高千穂チャンネル」チャンネル登録数					
		②100人	②200人	②300人	②400人	②500人
取組概要	①様々な情報をLINEで効果的に配信できるよう各課、施設と連携し、配信におけるルールを確立する。 ②観光関係の情報発信について、外部機関とも連携し積極的に行う。					
	①町公式LINEのお友達件数 2,208人 LINE配信については力を入れた。 ②YOUTUBE チャンネル登録者数 554人					
(6)実績評価	A					
(7)備 考						

(1)分類番号	2-2-1	(2)所管課名	企画観光課
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実	
	中分類	(2)広報公聴機能の充実	
	項目名	①効果的な広報公聴	
令和4年度の取組状況	<p>LINEにおいては、防災行政無線の内容を発信。登録者から非常にありがたいとの声が多く聞かれた。また、登録者数を増やすため、プレゼント企画を行った。</p> <p>広聴については、広報誌のハガキを出す際、負担(切手代)がかからぬよう継続して行っている。</p> <p>Youtubeについては、町の行事(100周年記念式典や二十歳の記念式典)に参加できない方へ向け配信を行った。</p>		
ヒアリング内容の結果 (委員会事務局記載)	<p>町公式LINEのお友達件数については、令和4年度は2,000人の目標に到達し、プレゼント企画も予定している。YouTubeチャンネル登録数も2/20現在で554人で目標を大きく達成している。</p> <p>問題点としては、土日祝日の火災などのライン配信対応が難しい、ライン配信の回数を増やしすぎると、受信者が煩わしくなり、減少する可能性などもある。</p> <p>町がライン配信をしていることを知らない町民への対応については、コロナワクチン接種会場での登録依頼などで増加したため、今後も同様の対応など継続してほしい。今後も、努力して登録者数を増やすようお願いしたい。</p>		
委員会の意見			

第8次高千穂町行財政改革大綱 実施計画書

(1)分類番号	2-2-2	(2)所管課名	企画観光課							
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実								
	中分類	(2)広報公聴機能の充実								
	項目名	②ホームページの適正な更新及び充実								
(4)改革方針・目標	観光情報だけではなく、町民に対する情報提供手段としての役割を考慮し、最新の情報をわかりやすく検索できるよう運用していく。									
(5)工程表	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	予 定 (KPI)	月間アクセス数（年平均） 29,000件	月間アクセス数（年平均） 30,000件	月間アクセス数（年平均） 31,000件	月間アクセス数（年平均） 32,000件	月間アクセス数（年平均） 33,000件				
	取 組 概 要	・アクセス数を意識し、わかりやすい内容での運用 ・職員向け研修会の実施								
(6)実績評価	実 績	・1月末時点での月平均ユーザー数は、26,900件と目標値には届かないものの、前年度の同期間と比較すると、1.72%（今年度269,004、前年度264459）上昇している。また、直接本庁のアクセスするユーザーは前年度の同期間と比較すると11千人増加しており、本町のHPがユーザーに浸透していると言える。								
	B									
(7)備 考										

(1)分類番号	2-2-2	(2)所管課名	企画観光課
(3)改革項目	大分類	2 町民の参画に向けた情報提供体制の充実	
	中分類	(2)広報公聴機能の充実	
	項目名	②ホームページの適正な更新及び充実	
令和4年度の取組状況	<p>・各課・各施設は必要な情報を周知するため、ホームページの更新を適宜実施している。今後もホームページの情報の充実を図るため、各課と連携していく。</p>		
ヒアリング内容の結果 (委員会事務局記載)	<p>ホームページの新着情報など欲しい情報にたどり着けないこともあります、不親切だととの意見がある。見る人が分かりやすくなるよう改善が必要。現在月間閲覧数が29,000件のアクセス数であり、Facebook 3,000人登録だが15,000件のアクセス数であるため、断然ホームページの重要性があるように思われる。何を見ているか閲覧アクセスサイトの確認をするなど、調査研究を継続してお願いしたい。</p>		
委員会の意見			